



師走に入り、あっという間に今年も残り10日余りとなりました。気ぜわしくなるのと同時に、寒さも本格的になりました。天気予報によると、今年はラニーニャ現象のため、寒い冬になるとのこと。皆さん、早寝早起きに努め、食生活など体調管理には気を付けましょう。

また、この冬休みは冬季セミナーや部活動に、毎日登校する人も多いと思います。長期休業中に、読書を生活の一部に取り入れましょう。ぜひとも長編小説などを読んでみませんか。図書室に本を借りに来てください。

さて、今月号では、寄贈本と、先月に引き続き全校集会「図書委員会発表」で紹介した、SDGsに関する本を紹介します。

★★★★★ 3冊の寄贈本の紹介をします ★★★★★



小松藩の歴史を知る

「小さな藩の奇跡—伊予小松藩会所日記を読む」

著者)増川 宏一 (角川ソフィア文庫)

50冊を小松史談会より寄贈いただいた本です。

写真集「石鎚山に抱かれて」 文・写真)一色龍太郎 アトラス社出版

本校卒業生である、一色龍太郎氏(西条市在住)より、写真集「石鎚山に抱かれて」5冊を寄贈いただきました。この写真集では、西日本最高峰四国の石鎚山や、それに連なる石鎚山系の山間に住む素朴な人々の暮らしや、古くから受け継がれ伝わる伝統文化や遺産、自然などカラー作品約50点で構成されています。

石鎚山の美しい写真にはっとさせられるとともに、石鎚山溪の中で廃村となった集落、氏神様に集う人々、田畑や道路の石積み、橋、トンネル、お地蔵さんなど大自然の中で、風化され、消えようとしている人々の生活が紹介されています。また、小松町石鎚(旧石鎚村)や古森神社の祭りや郷土料理「おつり」等も紹介されています。



「ムリバンジ! 太陽の国 730日の青春」

著者)松下 文治 三友社出版

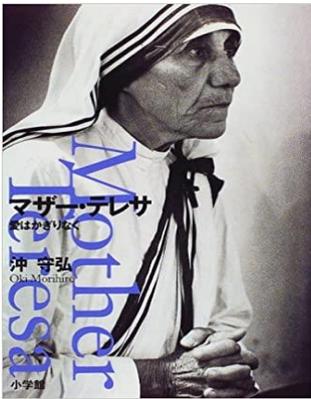
[内容]

著者である松下文治氏は、1970年に中央アフリカのザンビア共和国に日本人として初めて柔道の指導に行き、ザンビアで2年間を過ごします。その体験談を綴ったのがこの本です。現在、松下氏はNPO法人国際交流支援協会理事長として国際社会で御活躍中ですが、高校生に国際社会に目を向けて、夢を持ってもらいたいという御意向で県立高校に寄贈されました。ありがとうございました。

世界に目を向けよう!
ザンビアでの体験を

☆☆☆☆図書委員が選んだSDGsに関する本の紹介☆☆☆☆

「貧困をなくそう」に関する本



○3年3組 図書委員より
『マザーテレサ 愛はかぎりなく』
著者) 沖守 弘 小学館

(オススメポイント)

マザーテレサの言葉とともに、インドのスラムの現状、彼女の活動、そして、スラムで生き、死んでいく人々の姿を、写真で見ることができます。人口爆発、貧困、高齢化社会など様々な社会問題に目を向けてみませんか？

「ジェンダー平等を実現しよう」に関する本



○2年1組図書委員より
『兄の名はジェシカ』
著者) ジョン・ボイン 編訳) 原田 勝 あすなろ書房

(オススメポイント)

サッカーが得意で人気者というどんな子を想像しますか？兄の名はジェシカ。ジェシカは、女性の名前です。ジェンダーについて考えさせられる物語です。今年の読書感想文コンクールの課題図書でもありました。ぜひ一度この本を読んでみてください。

「気候変動に具体的な対策を」に関する本



○1年1組 図書委員より
『みんなと考える人間と地球の健康』
著者) 冨塚 績[他14人] ポプラ社

(内容)

この本は、水、空気、土の3つに分かれています。水はかつてきれいでしたが、汚染されている状態です。また、空気も汚染されつつあります。そのような問題の原因と対策について書かれています。

(オススメポイント)

自然環境について分かりやすく学べる点です。自然破壊の原因や、自然を守るための対策など、詳しく知ることができます。またイラストが描かれていて、説明文も短文で読みやすいと思います。

(冬季休業中の図書館の開架予定)

12月22日(水)～28日(火) 10:00～16:00です。〔土・日は除く〕

新年は1月7日(金)3学期始業式から開館予定です。